



怪奇!!

おつらんじゅんが本なんじゅん

妖怪  
降参!!



鬼灯…

鬼灯…



鬼灯…



……ああ……



—何が  
悲しくて

名だたる  
ブレイボーイの  
この僕が  
一人ブレイなんて  
しなきゃいけないんだ

よッ!

ガッ

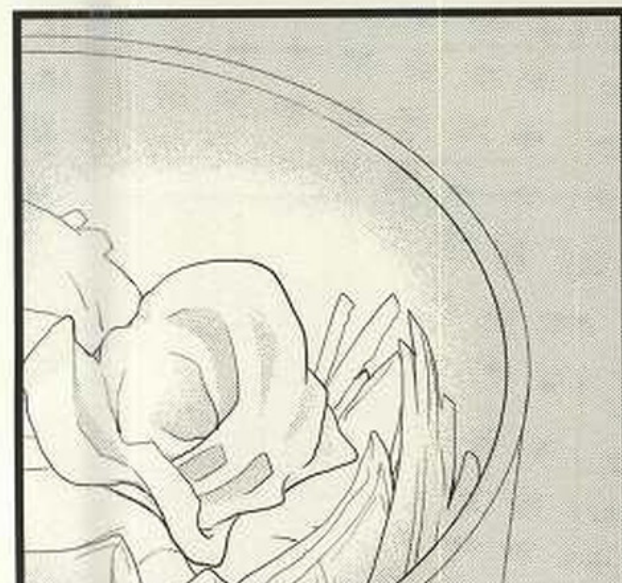
ゴッ!!

それもこれも  
全部あの朴念仁の  
せいだッ!

大人しく  
僕に尻を  
差し出せッての!



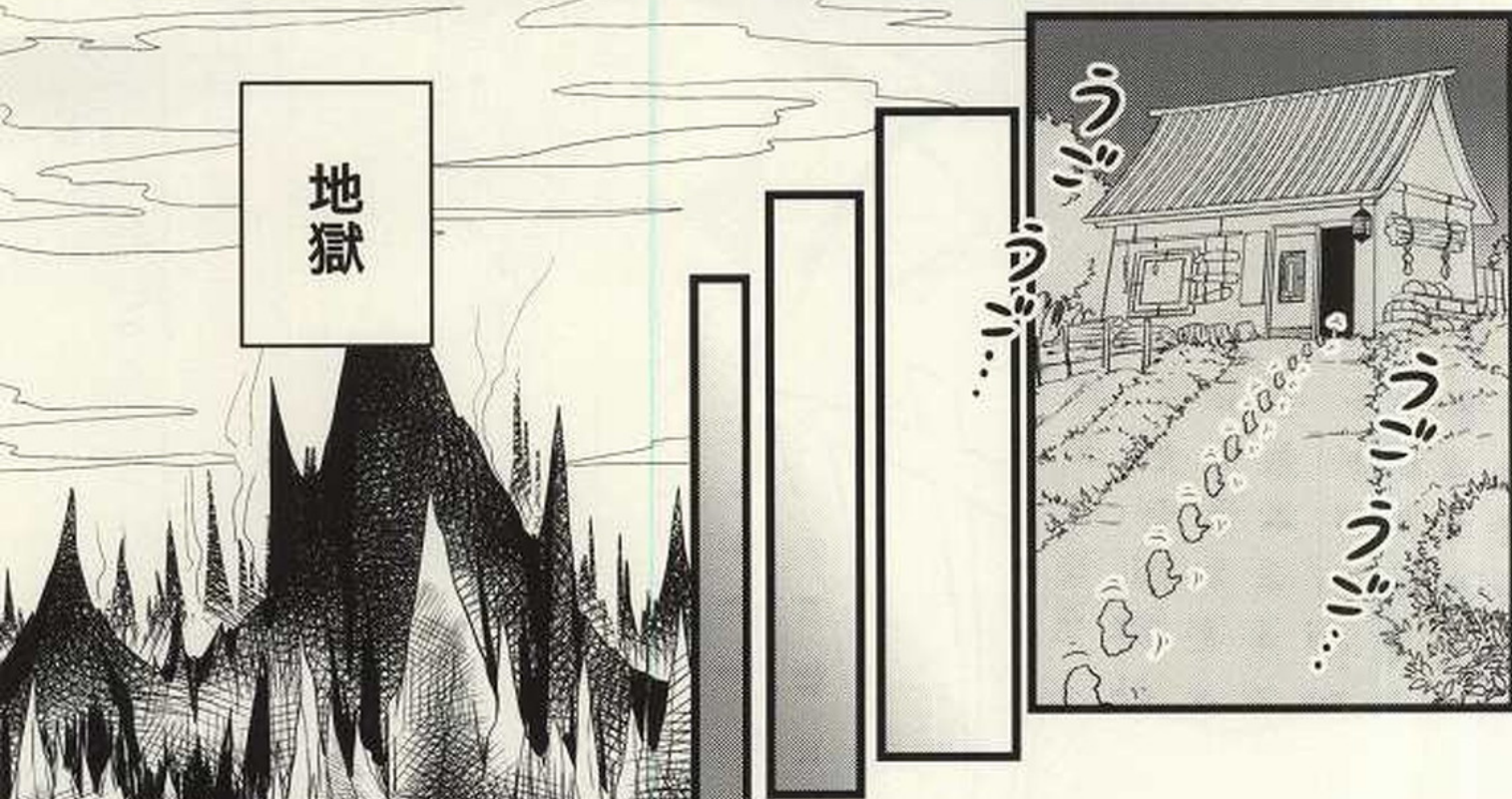
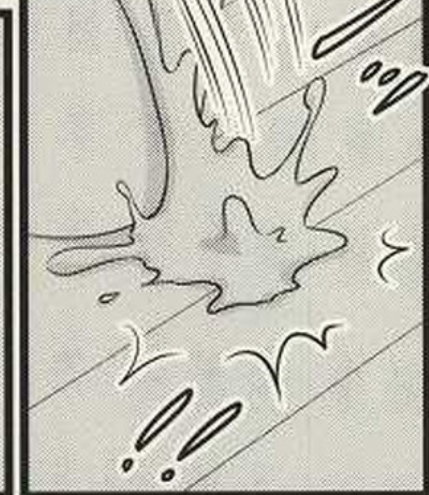
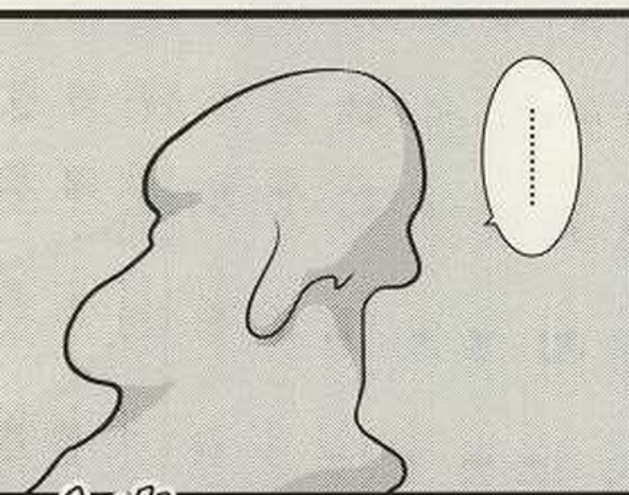
すか



はあもう  
胸くそ悪いッ!

夢の中で  
散々ぶち犯して  
やるからなッ!

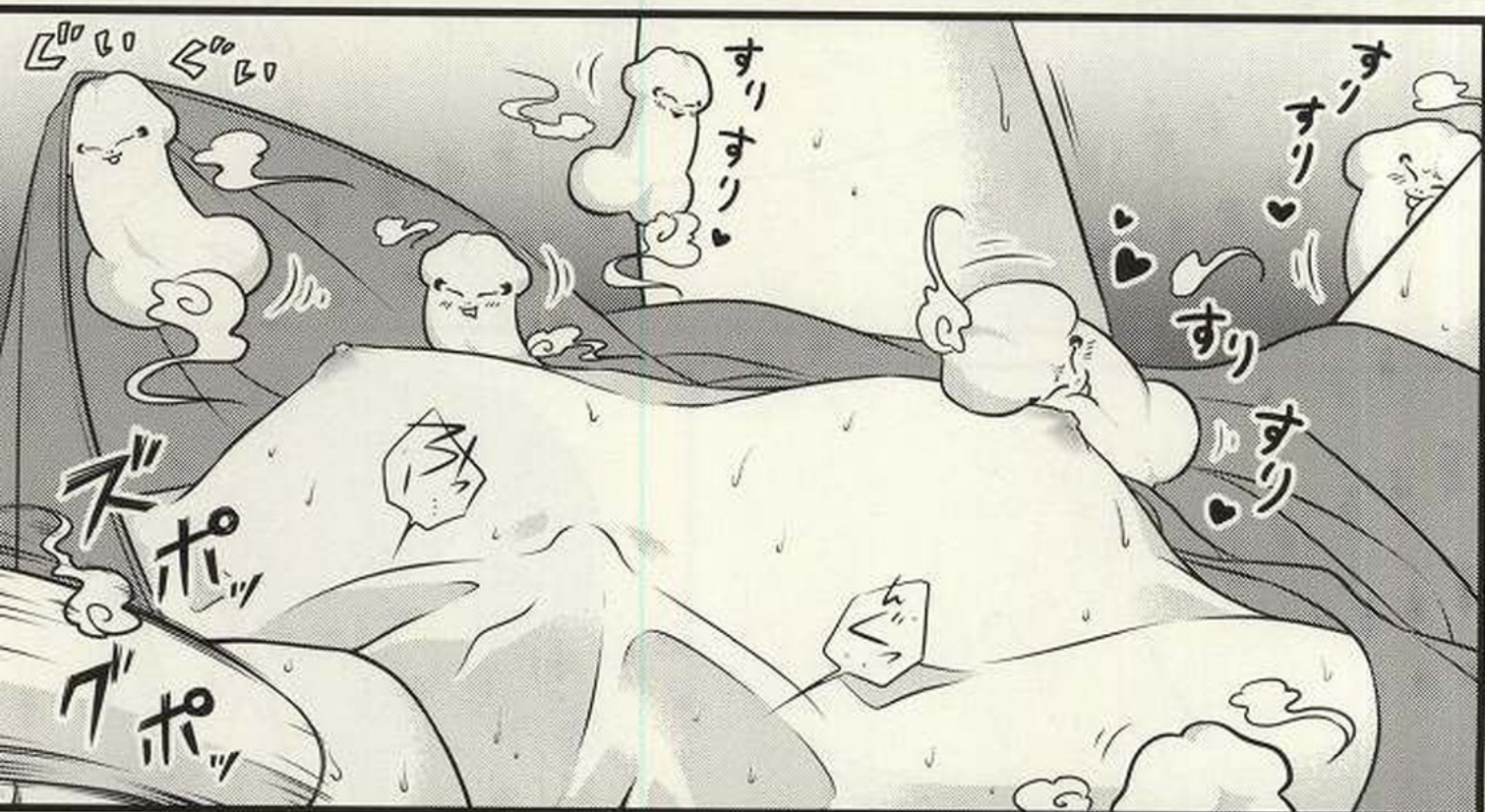
泣きべそかいても  
しらないぞ  
夢の中でッ!





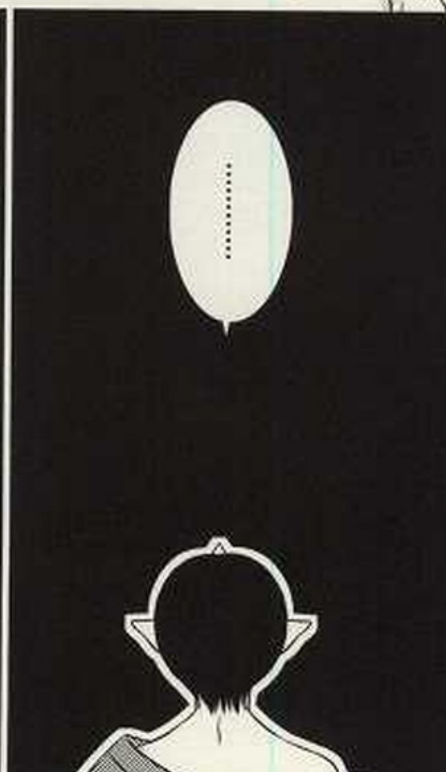


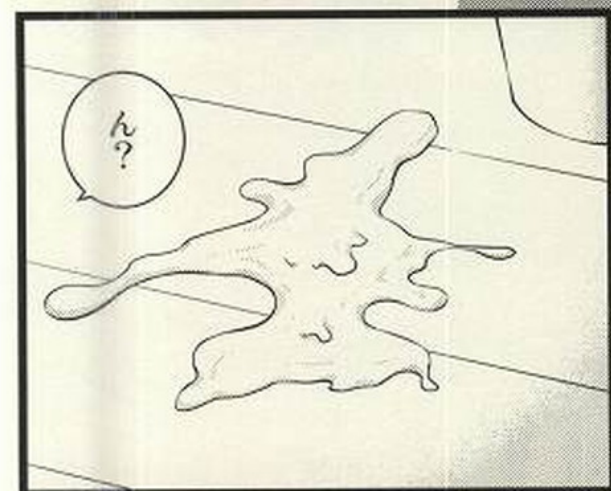












くたばれ  
妖怪製造機  
イイイ!!!

朝から熱烈ラブコールッ!!!

なんでお前は  
そうやって  
荒々しくしか  
来訪できない  
んだよッ!

うるさい  
朝まで  
待ってやった  
だけ有難く  
思えッ!

はあッ!?

……って

何  
妖怪製造機って

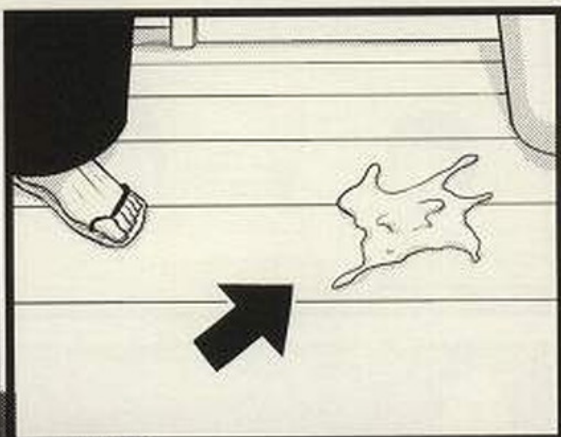
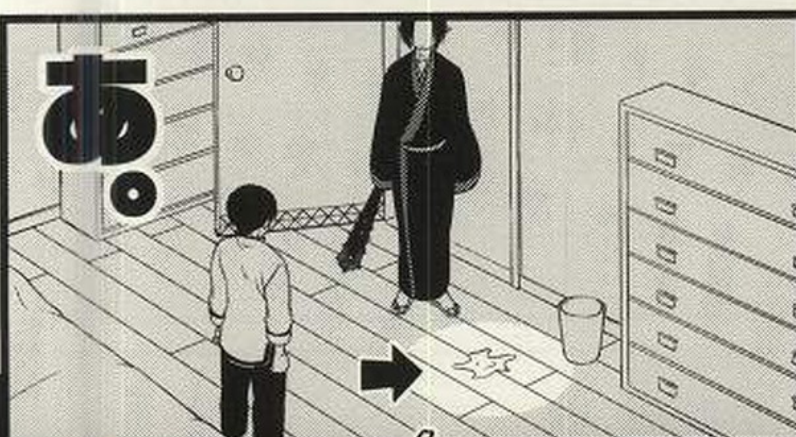
……口にしているものも  
おぞましいですが

……  
昨晚

お前の顔がついた  
男のイチモツ型の  
変な生き物が  
私の部屋に  
来襲したんですよ

はあ？

そして突然破裂し  
白い液体になったん…



……

きちんとトイレも  
できないとは…  
家畜はこれだから

は—…

か  
あ  
あ  
あ  
あ

ちっ…  
違うよ僕は  
ちゃんと昨晚は  
ティッシュにくるんで  
ゴミ箱に…ッ！

……



.....

どうしました  
白豚さん

何か...

鬼灯

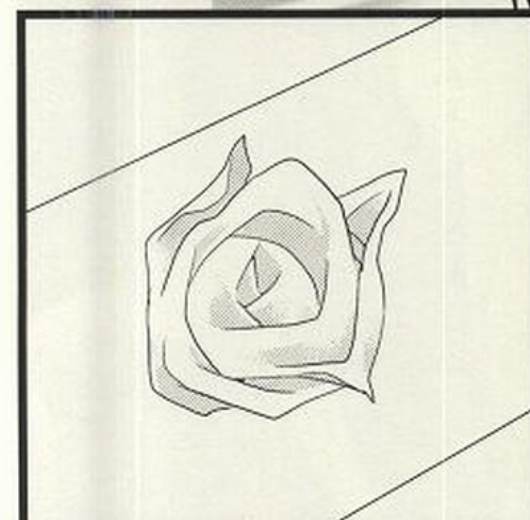
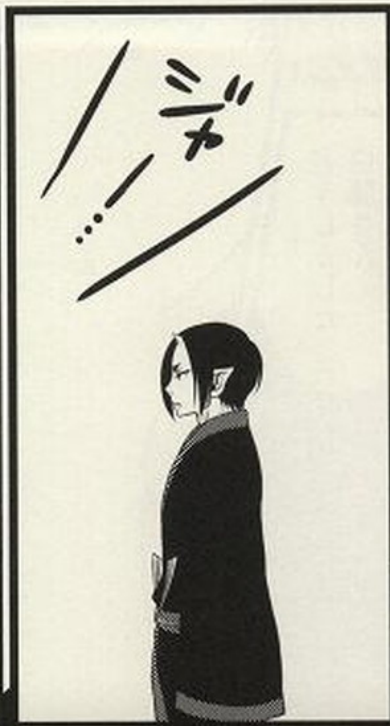


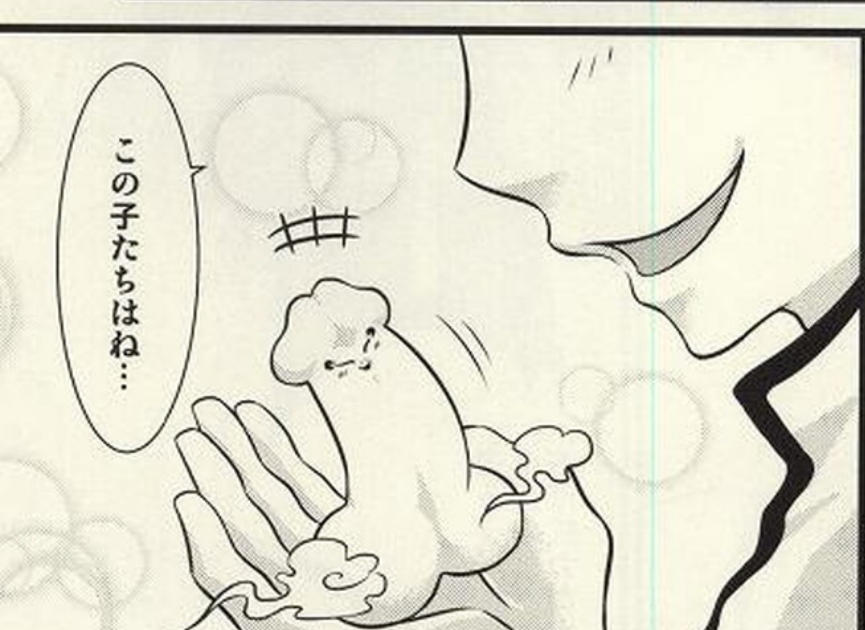
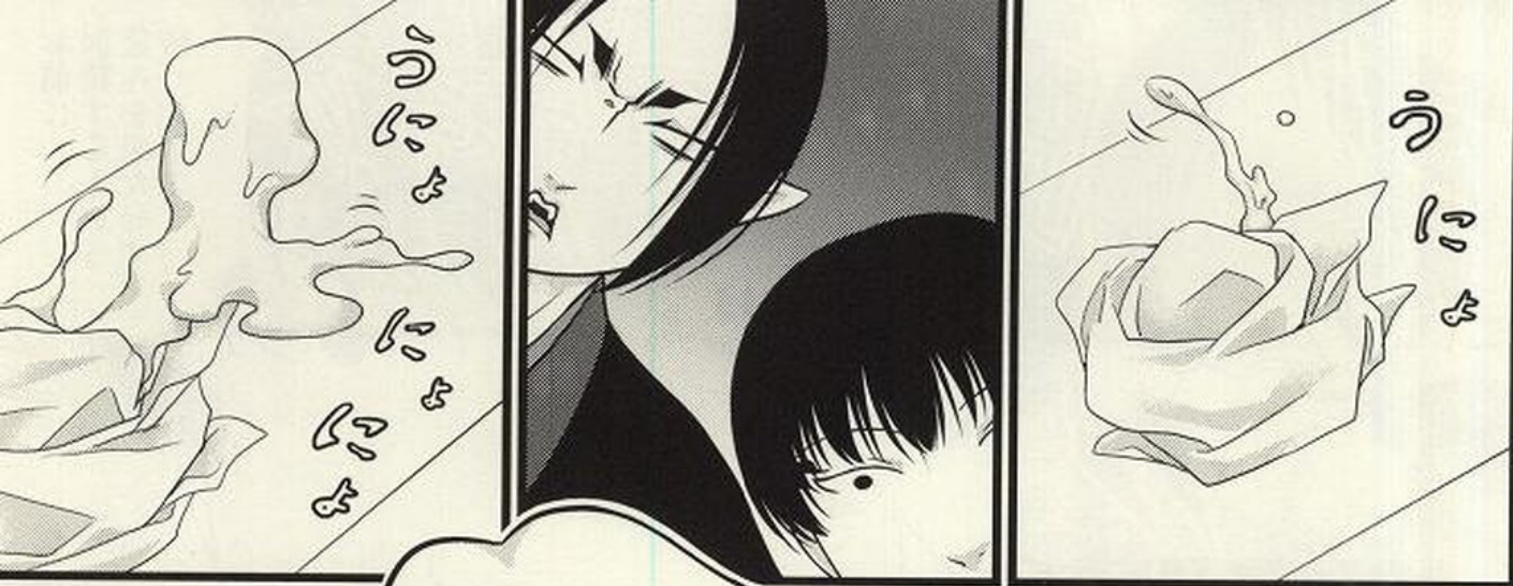
その現れたという  
謎の物体は  
僕の顔がついた  
イチモツ型  
だったんだな？

ええ

理由...

分か  
なん







お前に  
射精するとい  
望みを果たせ  
散った……

ドヤァァァァ!!!

僕の精子の  
無念が実体化  
したものだよ!!

痛い!!!

……お前は本当に  
ろくでもない  
ものばかり  
生み出しやがって……

ゴゴゴゴ……

Ex: 猫好き

違うよ  
今回は  
不可抗力だ!

単行本十三巻にも  
あるとおり  
僕は力はあるが  
使いこなすセンスが  
なんかアレらしい!

さりげなく  
ネタ発言  
挟むな

つまり  
こいつらは  
今回偶然  
生まれました!

でもせつかくだから  
僕はいいつを  
妖怪・僕珍々と  
名付けようと  
思います!!

心の底から  
どうでもいい!

いやくもう  
自分の  
潜在能力の高さに  
びっくりだわ

惚れるわ



……とりあえず  
原因は  
わかりました

白豚さん

今後一切  
私をおかずにした  
お前のオナニーを  
禁じます

はああああ!?

何いつてんの  
お前は尻も  
貸してくれないのに  
僕からオナニーまで  
取り上げようって  
いうの!?

もう僕は  
お前とやりたい時  
どうすればいいの!?

未来永劫叶わぬ夢だ  
諦める!

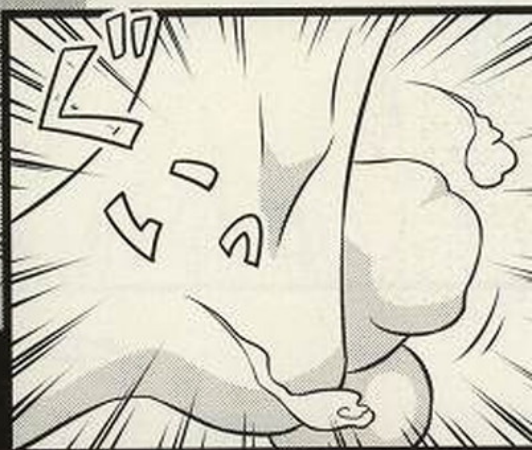
そんなの  
お前が尻貸して  
くれれば済む  
話じゃん…

……ふざけんなよ

その程度も出来ない  
器と尻の穴の  
小ささのくせに  
僕にだけ我慢を  
強要するなんて…

ユラ…

理不尽だッ!





鬼灯が僕に  
やらせてくれれば  
いいんだ



…そうだよ

もっと根本的な  
解決法があるじゃん



!!



ズリッ



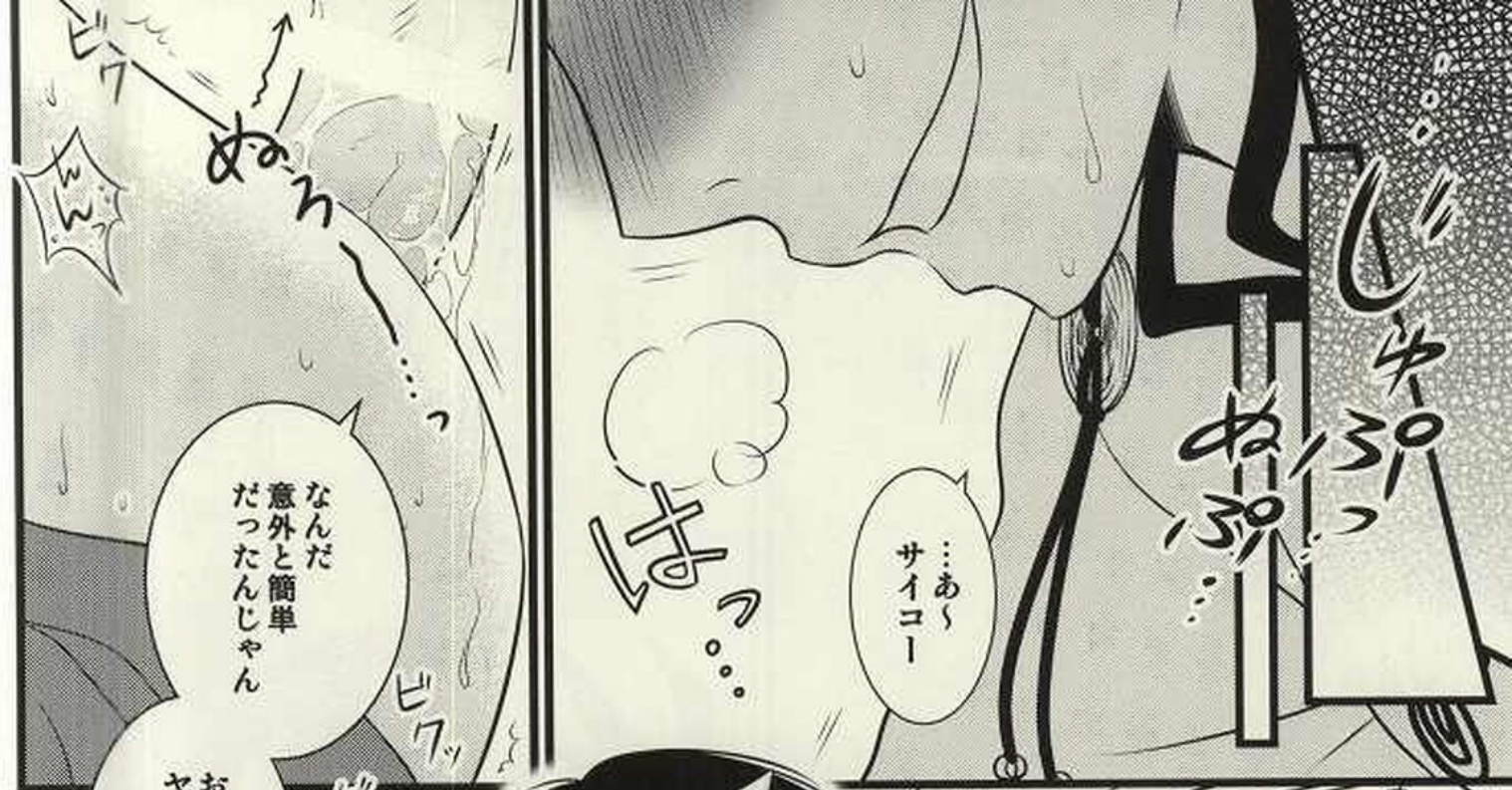
バカ  
いってんじゃ…



うんうん  
この子達も  
お前でシコりたい  
んだね

よし皆で  
仲良く鬼灯  
ヤツで成仏  
しようね

ちよ…



なんだ  
意外と簡単  
だったんじゃん

…あく  
サイコー

はっ…

お前を  
やるのなんてさ



いく眺めだね  
鬼灯

気持ちイイ？





絶対…殺…すッ…!!

そんな怖い事  
言わないでよ

ええ



ぶはッ



これを期に  
これからいつばい  
こうしようよ

やッ…アッ…

ぬいッ  
だッ…

ぬいッ

ッ…!!



そんな事しか  
言わないから

嫌なんですッ



そんなこと?



—ッから…

え?

人の顔みれば  
やらせろ  
やらせろ  
ぼっかり

は  
は

だって  
やりたいん  
だもん

私はお前の  
嫌いな男で更に  
お前の大嫌いな  
「鬼灯」ですよッ

え？  
僕お前の事  
好きだよ？

.....

...え？

え？

なんで気づいて  
なかったの？

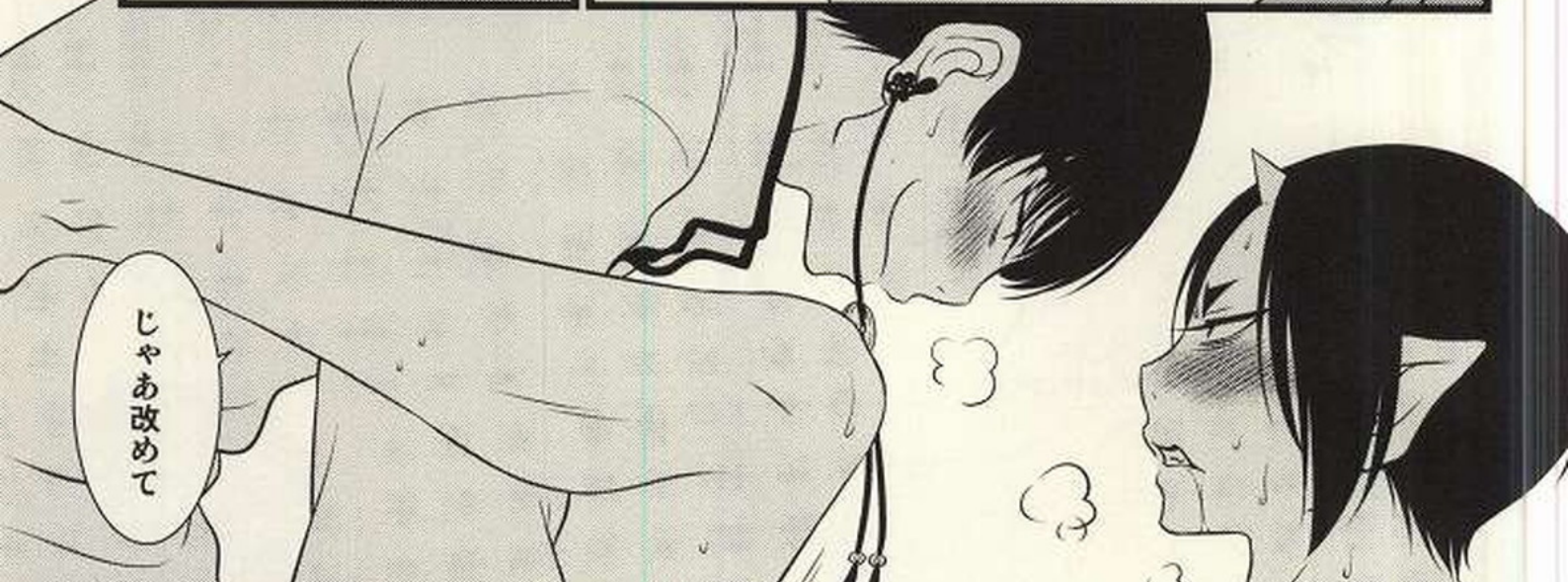
お前：  
そんな事  
一言も...

好きでもない相手に  
四千年もやらせろって  
執着しないでしょ  
普通

.....  
普通

うん  
普通

……普通は

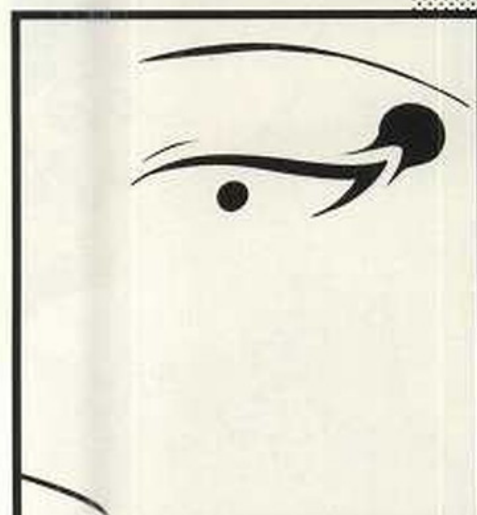


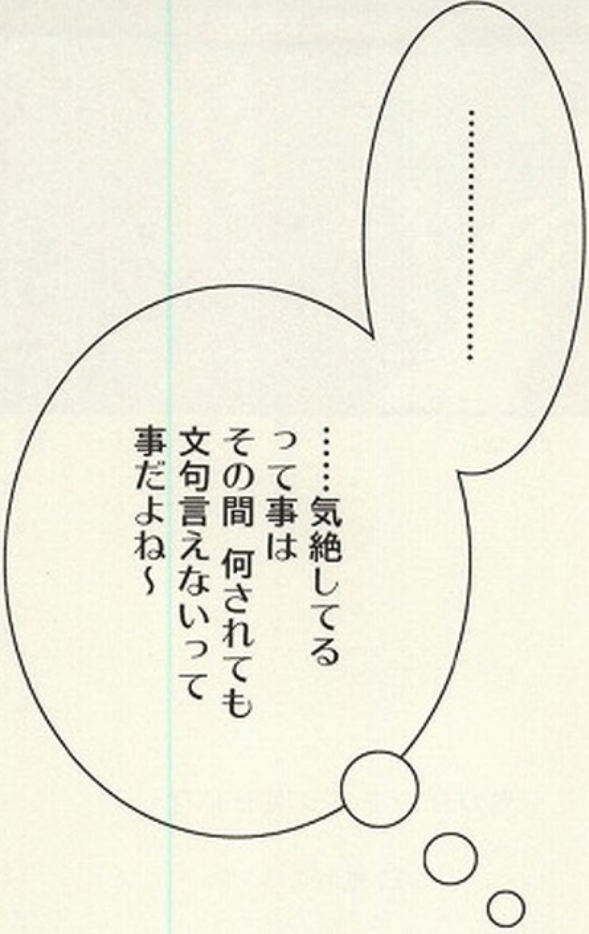


僕は鬼灯が  
好きなので  
やらせて下さい









……気絶してる  
って事は  
その間何されても  
文句言えないって  
事だよね

この後  
引き続き  
滅茶苦茶  
セツクスした



**EMPTY BRAIN presents**  
**白澤×鬼灯 FAN BOOK**

